

# アルファソニック マルイカ155XXUL ご使用上の注意

ゼロテンション釣法専用設計です。  
ゼロテンション釣法以外でのご使用はおやめください。

## はじめに

ゼロテンション釣法専用設計した155XXULは、特殊なアクションカーブを設定した、非常に繊細な穂先となっております。穂先部に採用したチタン素材と相まって、マルイカの微細な触りも捉えることができる超高感度穂先を実現しておりますが、特殊な穂先であるがゆえに通常のマルイカロッドより破損リスクが高くなっております。本書は破損を未然に防ぐための注意事項を記載しております。必ずお読み頂き下記に充分ご注意の上、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

## 穂先の特徴

写真1は40号負荷時の穂先カーブです。急激にカーブが変わる特殊テーパーのため、矢印部に負荷が集中しやすくなっております。

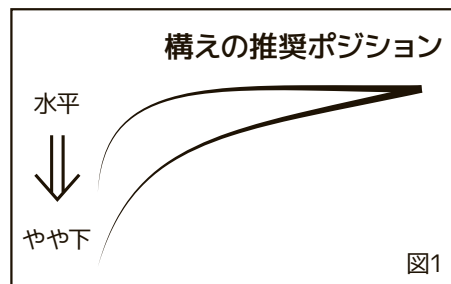
※注意：  
できるだけ負荷を集中させず、分散させるようにお取扱ください。



## ●構えの推奨ポジション

ゼロテンションでアタリを待つ基本的な構えは、図1のように水平もしくはやや下方を向けてください。

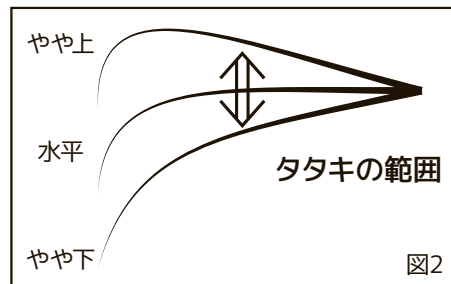
※注意：  
図3の様に立て気味で構えると、アワセたときに一点に負荷が集中し穂先が破損する危険性が高まります。



## ●タタキの推奨範囲

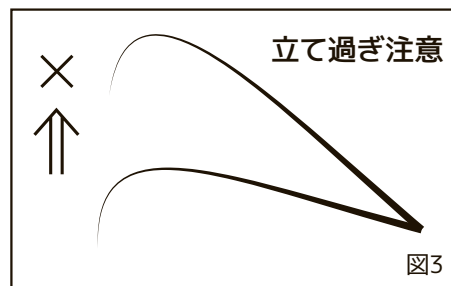
タタキ動作は、水平を目安に図2のようにやや上～やや下の間で行ってください。

※注意：  
図3の様にロッドを立てた状態でタタくと瞬間的に負荷が集中し、破損する危険性が高くなります。非常に繊細ですので、激しいタタキは行わないようにして下さい。



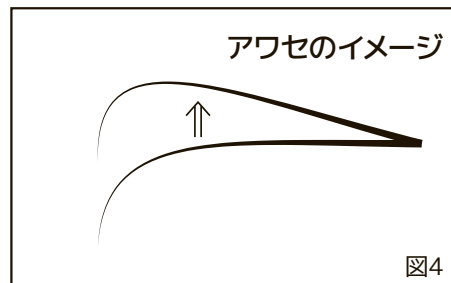
## ●アワセに関して

図4の様な感じで10～15cm程度ロッドを動かすイメージです。ロッドを立て過ぎず、強いアワセを避け、ゆっくりとアワセてください。



## ●巻き上げ時

巻き上げ時は図3の様にロッドを立て過ぎず、図1の様な状態で巻き上げて下さい。イカが掛かっているときや仕掛回収時と同様です。



## ●巻き込み防止

巻き込みを防ぐために、仕掛けの一番上にソフトビーズやゴム管など目印になるものを付けておくことをお勧めします。また、ラインのマークを良く見ることや先糸を長めにすることなどでも巻き込みを未然に防げますのでお試しください。  
※ビーズやゴム管はあくまでも目印であり、クッション性は期待しないでください。